

寄せられたご意見の概要とそれに対する市の考え方は以下のとおりです。

No.	寄せられたご意見の概要	件数	市の考え方
全般関係			
1	市民の財産である公共施設をあまりにも簡単に廃止する方向は間違っている。地元の説明会を開催し、市民・利用者の声を聞いて再考し、素案の撤回を求める。	1	[意見を参考にする] 本市では、平成24年度末時点で1,868千㎡の床面積の公共施設を有しており、他の財政規模が類似する中核市と比較しても高い水準になります。さらにこれらの公共施設のうち30年以上経過した施設が全体の60%以上を占めるなど、その多くが老朽化が進行しております。一方で、これまで15年間にわたる様々な見直しを進めてまいりましたが、少子高齢化に伴う扶助費の増等による、依然として多額の収支不足が生じている厳しい財政状況や、人口の減少も引続き見込まれる中、このまま施設を更新・維持し続けていくことは事実上不可能な状態にあります。 今の便利さや豊かさを優先させ、結論を先送りすることは、次の世代に大きな負担を押し付けることとなります。将来を見据え、持続可能な施設運営を行っていくためにも見直しを行っていくことは、不可避であり、身の丈にあった施設保有量・施設規模となるよう、取組を進めていく必要があります。
2	かつて尼崎は、公共施設も充実し大変住みよいところだと言って引っ越されて来られる方が多くいた。 「公共施設マネジメント」の名のもとに身近な公共施設をなくしていくことに反対する。尼崎の良さが失われ、人口(特に若者人口)が減少することになる。	1	一方で、公共施設は、市民サービスの提供のための拠点であることから、見直しにあたっては、可能な限り、サービス水準を低下させないよう、慎重に進めていかなければならないと考えています。 こうしたことを踏まえ、様々な選択肢を検討することとしており、市民・利用者のみなさまの声を聞きながら、着実に取組を進めてまいりたいと考えております。
3	施設は存続できるようお願いしたい。 施設は廃止しないでいただきたい。 移転などはやめてその場に建替えてほしい。 私たちの交流の場所や会館をなくさないでほしい。	7	
4	減少しているとはいえ、尼崎市は45万人の市です。まず「カット」ではなく、存続のためにこそ知恵と力を注いでもらいたい。	1	
5	第1次尼崎市公共施設マネジメント計画(素案)に反対する。 青少年センター、老人福祉センター、市民プール、北図書館、立花公民館などなど、縮小や見直しはせず、現在地に建替えてほしい。 長い間、市民の憩いの場である文化施設、図書館や公民館まで対象にするのは、尼崎市の文化程度が疑われる。住んで魅力のある街になるよう税金を使ってください。	1	
6	大庄地区の公共施設減少に反対する。特に大庄体育館、千代木園の存続、もしくは改修、近隣に新設移転を求める。老朽化を改善してこなかった市が責任をもって改修などを行うべき。 大庄地区は高齢者・低所得者が多い地域であり、安価に利用できる施設が必要で、遠方では高齢者や小さいこどもの利用が難しくなるので、大庄地区に施設を残していただきたい。	1	
7	お年寄りやこどもに支援が必要な現代。地域のお年寄りが集えたり、子育ての支援ができるように施設を充実させて建替えしていただきたい。	1	
8	「35年間で30%以上の公共施設をなくす」という方針は見直すべきである。 地方自治体の役目は住民の福祉の向上にある。それを「借金返済」「金がない」との理由で押し付けるとはどういうことか。 35年後にどんな尼崎にしようとしているのか。若者だけでなく高齢者にも住みやすい街になるよう、借金返済先にありきではなく、福祉を後退させないよう知恵をしばってほしい。	1	

9	子育てをするなら住みよいまち尼崎と言われるよう、あっと言われるような新しい施設を今の場所で作ってほしい。予算がないのなら、ビジョンを示し、募金を募ってはどうか。塚口町に素敵な施設を作っていただきたい。	1	
10	貸館施設に関して、民間施設に代替が「可能」となっているが、市内にはレンタルスペース的な施設はほとんどなく、事実上代替の施設がないというのに、代替が可能という判断をする理由がよくわからない。このあたりの評価は見直しをするべき。	1	[その他] 施設評価(2次評価)(素案)においては、6つの視点で評価を行っており、その視点の1つとしてご指摘の「民間施設の代替」がございませう。 これは、法的な規制などを踏まえ民間での運営などが可能かということを検討し、評価しているもので、法的な規制などから理論上は代替が可能かどうかについての評価となっています。 しかしながら、理論上は可能であっても、市内の状況などから実態としては民間での代替が困難であるなどの状況であれば、これを踏まえて当面現状を維持するなどの整理を行っているものでございませう。
11	高齢者が増え、身近な場所で様々な話し合いや活動の場が必要である。地域の活性化、住んで良かったと思える尼崎市を作るため、地域のコミュニティの場を増やしてほしい。	3	[その他] 本市では、身近な地域の中で高齢者が元気で暮らし続けられる環境づくりを目指し、高齢者の方々を対象として実施する地域の交流活動や介護予防に資する活動に対して補助を行う高齢者ふれあいサロン運営補助事業を展開しております。 平成29年度以降も引き続き、高齢者の方々が徒歩で通える身近なサロン活動が拡大するよう事業の推進を図ることとしております。
12	ブロック組み替えのような、対象施設をどこに移転させるかを検討するのはやめ、地域総合センターの集約化のように機能集約を図る整理を行ってほしい。	1	[意見を参考とする] 素案における具体的見直し内容については、その施設の機能や利用者の状況、近隣施設の状況などを踏まえ、可能な限り、未利用スペースの活用など既存のストックを最大限活用することとするとともに、多機能化を図った上で、集約化を行うことなども選択肢として検討を進めてまいります。
13	尼崎市の「都市の魅力」はどこにあるのか。どんなものをめざしているのか。 「都市の魅力」はモニュメント的なものが生み出すのではなく、「住む人がそれぞれの地域で生き生きと暮らしていける」その後押しをするハード面ソフト面の施策が展開されることで生まれてくるのだと思っている。 今回の示されている計画素案は、耐震の名のもとに、住民の利用や必要性を無視して、単に維持管理を縮小する事だけが目的のように見える。	1	[意見を参考とする] 今回の取組につきましては、施設の方向性を定める施設評価においては耐震性などの建物の安全性のほか、既定の計画の有無、利用者アンケートに基づく施設の利用実態の他、民間施設の代替性など6つの視点で総合的に施設の評価を実施しております。 こうした評価において、既定の計画の有無の視点では、市営住宅の建替えや総合センターの在り方、幼稚園教育振興プログラムにおける考え方などとの整合性を図っており、こうしたものがないものについては、そのあり方を検討することとしております。 こうしたプロセスにより、ご指摘の市民のみなさまの利用状況や施設の必要性について、評価した上で、施設の方向性をお示しているところでは、お示している資料が、複雑な内容となっており、分かりにくいものであることは、認識しており、今後、市民説明会等の場において、ご指摘の点も含め丁寧に説明していきたいと考えております。

高齢者施設関係			
14	<p>千代木園、福喜園などの老人福祉センターは、高齢者が気軽に利用できる施設で、高齢者の楽しみや生涯学習の一部、生活の一部となっていることなどからも、施設はなくさないでほしい。実施事業への参加など、毎日通うのを楽しみにしており、このまま続けたいと考えている。</p> <p>高齢者が増える中、高齢者がいつまでも元気で生きがいを持って尼崎に住み続けられるよう老人福祉センターの廃止などは反対である。</p> <p>高齢者にとっては近場に施設があることが大事であり、遠くの施設には行きにくい。</p>	44	<p>[意見を参考とする]</p> <p>老人福祉センターの機能移転やそのあり方の検討にあたっては、施設の安全性、施設が現在担っている機能や利用状況はもとより、高齢者の人口が急増する一方、高齢者を支える人口が減少しているなどの社会情勢の変化、本市の厳しい財政状況、今後必要とされる経費である将来負担等を十分に踏まえる必要があります。</p> <p>そうした中で、今後も存続させるべき施設の機能については、利用者のニーズや利便性等を勘案し、可能な限りサービス水準の低下をきたさないよう近隣の公共施設等での代替を選択肢とする中で、市民・利用者の声を丁寧に聞きながら、着実に取組を進めていきたいと考えております。</p> <p>また、厳しい財政状況への対応につきましては、これまでも職員人件費の削減や事務事業の見直しなど10数年にわたり行財政改革に取り組んできたところでありますが、今後においては、なお収支不足が20億円程度生じる見込みであることから、引き続き「あまがさき『未来へつなぐ』プロジェクト」に基づき、歳入の確保や歳出の抑制の取組を積極的に進めることとしています。</p>
15	<p>労働福祉会館の閉鎖、公民館分館の閉鎖に続き、次は老人福祉センターが廃止されること。</p> <p>財政の厳しさは聞いているが、老人が手軽に楽しめる場所がなくなるのは、大変さみしく思うので、他の無駄を見直して存続してほしい。</p>	1	
16	<p>福喜園をなくさないでほしい。耐震の問題などで廃止するとしても、いま行われている教室が続けられるよう代替を作ってからしてほしい。</p> <p>財政難については、現行無料のものを有料にしてもいいので、施設はなくさないようにしてほしい。</p>	1	
17	<p>第1次尼崎市公共施設マネジメント計画(素案)において「機能の移転、見直し、複合化を検討する施設」として、老人福祉センター「福喜園」が掲載されている。</p> <p>福喜園は、所在地の市民が参加するのに非常に便利な場所で、現在300名程度が利用している。</p> <p>高齢化社会が到来し、利用者がますます増加する。</p> <p>健康で生活するため、体育関係など数多くの施策を利用し、健康づくりに努めている。</p> <p>福喜園の建物は内装、外装をリホームすれば、まだまだ長く活用できると思う。</p> <p>そのため、利用している私たちは、真意をもって福喜園が今後、存続され利用できることを願う。</p>	375	
18	<p>マネジメント計画(素案)について、「ファミリー世帯の定住・転入促進」「超高齢社会における安心な暮らしを確保する」を目標にすると書かれているが、機能の移転・見直し・複合化の対象となっている総合老人福祉センターは、今でも年間延べ10万人近い市民が利用している。</p> <p>お風呂も11時～15時まで常にいっぱい状況で、無料だから利用している意外に、ひとり暮らしの高齢者が安心して入浴できる環境づくりにも非常に寄与しており、なくなるかもしれないと聞いた利用者からは、管理者へ「なくなったら困る」との声が相次いでいる。</p> <p>今後35年間で30%の公共施設を削減することだが、一方で尼崎城・聖トマス大学の土地を増やしており、矛盾を感じている。</p> <p>数字だけで操作するのではなく、マネジメント計画の作成には、尼崎市総合計画のアクションプランの理念を踏まえ、該当する施設を利用している方の声を反映させる対応をお願いしたい。</p>	1	

19	高齢者のいこいの場である千代木園は存続する方向で考えていただきたい。千代木園のお風呂は続けていただきたい。 千代木園で運動をしてお風呂に入る楽しみをなくさないでほしい。	4	
20	老人福祉センター「鶴の巣園」については、機能のあり方を検討することになっているが、風呂がなくなるのではないかと危惧している。 高齢化して、一人暮らしや老夫婦だけの世帯が増加する中で、老人同志が語り合う場所として、これまで以上に風呂はなくてはならない存在になってきている。 老人の憩いの場所である風呂をなくさないでほしい。	1	
21	千代木園、福喜園は存続させていただきたい。統合するばかりが、合理的だとは思えない。	1	
22	福喜園などでは、年間30万人以上のお年寄りが健康・生きがいを求め集まっている。体操、卓球などの健康維持、囲碁、将棋、絵画、書道、英会話などの娯楽・教養教室サークルがあり、健康や生きがいになっている。 さらには、12万人以上が利用している無料のお風呂まで廃止しようとしており、どこまでお年寄りをいじめれば気が済むのか。 広大な「競艇場」を公共施設に含めているが、これをやめれば、多くの施設が残り、お年寄りの居場所が残る。お年寄りの生きがいを奪わないでください。	1	[その他] 老人福祉センターに係る今後のあり方検討についての考え方は上記のとおりです。 なお、ボートレース事業につきましては、これまでに事業収益から本市財政への繰出しを行ってきました。 現在、「尼崎市競艇事業経営計画」に基づいて、将来にわたり事業を安定的に継続しながら、着実に収益を確保できる経営体制の確立に取り組んでおり、今後も本市のまちづくりへの貢献という使命を果たすべく努めてまいります。

障害者施設関係

23	機能の移転・見直し・複合化を検討する施設となっているあいあい分場を子供が利用している。 障害を持つ子供の日中活動の大事な場所であり、この施設がなくなるようなことはないと思信じている。 古い建物で耐震化されていないことは不安であるので、できることなら現在地に建替えてほしいが、現実的には難しく、機能をこのままに移転することはやむを得ないとも思う。 しかし、慣れた土地・環境だから休まず通所できているという方がほとんどだと思うので、移転するのであれば潮江地区の現在地周辺でないと困る。 いずれにしても、現状のままの建物の使用は危険なので、速やかに解決をしていただきたい。	1	[意見を参考とする] ご意見にありました、障害のある人にとって、環境の変化は非常に大きな問題であり、また、地域と築いてきた関係や、現在行われている作業などを継続的に続けていくことは非常に重要であると認識しております。 しかしながら、厳しい財政状況にある中で、老朽化したすべての公共施設の現状維持又は建替えを行うことは困難な状況にあります。 こうした中で、この度の計画素案は、現段階での本市としての考え方としてお示しさせていただいているものであり、この案についてのご意見をいただきながら取組をより良いものに進めていきたいと考えております。 こうしたプロセスを経て、今後、さらなる具体的な取組内容を検討し、お示しする中で、利用者並びに関係者の方々のご意見などをお伺いしながら、慎重に検討してまいります。
24	私は、あいあいの潮江分場に通園している子の父親ですが、市報を見て、ビックリした。確かに建物の老朽化は免れないと思うが、十数年今の地に通園し、地域とも知的障害者に理解してもらい緊密な関係が出来上がっている。 どの子供も、人との関わり合いが苦手だが、今は長期間経過してる関係で良だと思つので、何卒今の建物が新しくなっても、また戻れるように希望を陳情する。	1	

25	<p>あいあい分場に開設当初から通っており、地域の方々とのつながりも深まっている。建物の構造は古いとはいえ、2階はスペースが広く、その広さを活かし、みんなと一緒に作業をすることが苦手な人はパーテーションで区切ったり、流れ作業の際は机を並べるほか、レクリエーション等、幅広い活動をしており、満足している。</p> <p>地域の理解や繋がりなど、17年間培ってきたものがなくなることは残念で、現在の場所で建替えることはできないのであろうか。</p> <p>建替えが困難で、移転しか方法がないのであれば、現在の活動が担保できるような移転先とともに、複数の身障トイレの完備、作業所・レクリエーション室・更衣室などのバリアフリー化のほか、緊急時の受入れ対応ができる場所の確保を望む。</p> <p>いずれにしても、障害のある人にとって、環境の変化は状態の悪化を招く原因にもなりえるので、丁寧な対応をお願いしたい。</p>	1
26	<p>あいあい分場を利用している息子がいる。やっと慣れたところなのに、施設の場所が変わったりすると、登所拒否すると思うので、今の場所の近くに場所を探してほしい。</p>	1
27	<p>あいあい分場は、利用者にとって、大事な日中の生活場所である。近隣の方々とのつながりもあり、地域に溶け込んで様々な活動をしてきており、周辺住民の方々に感謝しつつ今後も変わらぬ場所として存在してもらわなければ困る。</p> <p>あいあいの利用者家族会で意見交換を行い、そこで出た意見や希望は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●古い建物で危険であり、内部の使い勝手が悪いので、現在地において建て直してほしい。あいあい分場がこの地で長く培ってきた歴史があり、近隣との信頼関係ができています。移転という変化に対するストレスを消化しきれない利用者が多く、移転に伴う様々な問題点を考えると場所が変わることに対するマイナス面が多すぎる。 ●移転は致し方ないかもしれないが、機能は現在より劣ることのないよう、また慣れ親しんだ現在地から遠く離れることなく、通う人にとって無理のない場所にしてほしい。 ●大きな災害があると身の危険があるので、早急に耐震化工事をしてほしい。 	1
28	<p>あいあい分場について、知的障害の利用者が長年利用し慣れ親しんでおり、地域や周囲の方々からの理解がある。</p> <p>通うことも便利で慣れている潮江のあの場所以外に適する場所は皆無だと思うので、建替え又は耐震補強で現在の場所を利用し続けられるよう検討願いたい。</p>	1
29	<p>障害者(特に重度の方)にとって場所(環境)が非常に大切であり、あぜくら分場の現在の環境は静かでとても恵まれていることに感謝している。</p> <p>しかし、現在の生活に慣れている通所者の方にとって環境が変わると混乱が生じ、それに対応することが難しくなると思う。</p> <p>できる限りの対話と相互の譲歩であぜくら分場の移転を回避できることを願っている。</p>	1

30	<p>あぜくら分場について、尼崎市のご厚意で長年この地で生活のリズムを築き上げてきた人たちにとっては、衝撃的な発表であった。</p> <p>この計画(素案)がなされた理由は分かるが、なんとか、同じ場所で今後も過ごせるようお願いしたい。</p> <p>障害者にとって、環境が変わることによって、心の動き・身体の動きが大きく変化し、その流れに添うことが難しいので、ここがダメなら隣の土地にというわけにはいかない。</p> <p>また、長年培ってきたご近所との関係もある。</p> <p>どうか、今の状態を存続できるよう検討願いたい。</p>	1
31	<p>あぜくら分場が移転すると今の仕事ができなくなる。今の場所で仕事を続けたいので、移転は反対である。</p>	5
32	<p>あぜくら分場について、これまで働き続けてこれた場所であり、地域の方にやさしく声をかけていただいたり、協力いただいたり、大切な社会資源となっている。場所もスペースも障害を持った仲間にとっても重要な場であり、移転に反対する。</p> <p>利用者にとってあの場所でなければならない理由があるので、移転について考え直してほしい。</p>	2
33	<p>生活介護の利用者は大きな声を出したり、他傷する人もいるので、一定の広さがなければ安定しない。また、就労B型で行っている作業ではかなりの資材が必要でトラックの出入りなど広い環境が必要であり、あぜくら分場の移転には反対する。</p>	1
34	<p>障害のある利用者の大切な場所、何年も慣れ親しんだ場所、仲間が気持よく作業し、生活できる場所であるあぜくら作業所の移転に反対する。</p>	3
35	<p>建物よりも立地条件が重要で、あぜくら分場は静かで広いグラウンドがあり、障害者を支援する場所として適している。狭い作業所では他の利用者や音に敏感になっていたりしていたようなこともあり、ゆったりとした環境が必要であることから、あぜくら分場の移転には反対する。</p>	1
36	<p>長い間慣れ親しんだ場所・建物から違う場所へ移るという事は、障害者の方にとって精神的に大きな負担になる。</p> <p>また、作業空間の面からも今の場所が適しており、長年培ってきた地域の理解・協力など良好な関係もある。</p> <p>緑が多く、作業のための資材運搬にも使う園庭は広い。</p> <p>通いなれた場所で引続き仕事をしていくべきであり、あぜくら分場の移転には反対する。</p>	20
37	<p>作業の内容、種類の多さ、在庫の多さなどを考えると広い場所が必要であるが、今は広く動きやすい状況になっている。</p> <p>また、利用者の方は今の場所に慣れ親しんでいるとともに、大きな声を出しても住宅地と密接しておらず、また周辺の方の理解もある。</p> <p>そのため、今までと同様に仕事を続けられるようあぜくら分場の移転には反対する。</p>	2

38	<p>あぜくら作業所は、若王寺に本体作業所があるが、若い障害者の入所が相次ぎ、あぜくら分場、最近ではひまわり作業所を開所した。</p> <p>あぜくら分場には、生活介助を要するグループと簡易な仕事をするグループが働いており、下請仕事のみならず、アルミ缶回収や地域の施設の清掃業務も行い、地域社会に受け入れられている。</p> <p>また、神崎川沿いに立地しており、自然環境に恵まれ、河川敷で散歩や体操を行っている。また園庭も緑があり、さらに資材の搬入や製品の出荷、送迎車の駐車場としても貴重である。</p> <p>我々を受け入れてくれたこの地域で、このような自然環境の中、今後ともあぜくら分場を維持していきたい。</p> <p>建物の古さや自然災害への備えが必要であることは認識しているが、障害者施設の立地や施設には障害者の特性に応じた配慮が必要であり、今後、障害者、保護者、関係者の意見をしっかりと受け入れ、丁寧に時間をかけて話し合いをしていただくようお願いする。</p>	1
39	あぜくら分場の移転に反対する。現在の場所に建替えを希望する。	5
40	あぜくら分場について、同じ場所での建替えを希望する。まったく違う場所になると利用者も負担になり、職員もその分大変になる。	1
41	<p>あぜくら分場について、仕事の荷物もかなり多くある中、今の量を収納でき安全に作業できる場所は他にはないと思う。</p> <p>地域との良好な関係もできているなか、他の作業所と同じ建物になるということは、間違っている。</p> <p>あぜくら分場を今の場所を残すべきである。</p>	3
42	<p>あぜくら分場について、今まで築いてきたことを大切にしたい移転してほしい。老朽化について考えて、安全面重視でありたいが、環境が変わると精神的に大きな負担になることも考えられる。</p> <p>一人ひとりが、精神的に安定した生活が送れるよう配慮してほしい。</p>	1
43	あぜくら分場について、一人一人の障害が違うので、今の場所より狭い場所は仲間にストレスがたまってしまう。色々な面で反対する。	1
44	<p>あぜくら分場について、約20年にわたり、この地で働くことを柱にして月日を積み重ねてきた。その中で、障害のある人が働く場を得、地域とのつながりもでき、それぞれの居場所が根付いている。</p> <p>私たちの居場所を実態や現状を把握もせず、安易に計画として上げないでいただきたい。計り知れない不安と戸惑い、怒りに打ちひしがれている。</p> <p>障害のある人が人と繋がり、安心して働くには健常の人より何倍もの時間がかかる。</p> <p>ぜひ実態を、声を聞き、一緒に時間を過ごしていただき、安直な方向性を出すのはやめていただきたい。</p>	1

45	<p>あぜくら分場について、老朽化が進行していることが、施設の廃止、機能の移転の理由にはならないと思う。老朽化に対する対策は改築や建替えであり、決して廃止・移転ではない。</p> <p>あぜくら分場は、長年高田町の地で地域の方々に支えられ、共に歩んできた数値化されない”評価”がある。ホームページ上の施設評価結果だけでなく、数値化されないあぜくら分場の歩みを評価し、施設の廃止・移転ではない今後の方向性を希望する。</p>	1
46	<p>あぜくら分場について、缶回収の仕事やバザー、署名の取組などで、地域の人たちと作り上げてきた関係を大切にしたい。福祉施設として、今後も地域の人たちに貢献していけることを模索していきたい。</p> <p>あぜくら分場は生活の場として広く、重度の人にとって、作業のみならず、心身ともにリラックスできる場である。また、就労の利用者にとっては、製作した商品を置く場もあり、労働意欲をもってもらえる気持ちになっていると感じる。</p> <p>まだまだ生活する労働賃金を支払っているわけではないが、障害者の豊かに生きる権利、生活する場、働く場を奪わないよう強く願う。</p>	1
47	<p>あぜくら分場の移転に絶対反対。</p> <p>障害のある利用者が、地域で生き生き暮らし、地域にも理解されながら働くためにも、あの場所に園庭の広さを残しながら、存続させ続けてほしい。</p> <p>法人が設立して現在まで地域とあり続けて今がある。</p> <p>老朽化という理由だけで移転することは、障害のある利用者の働く場を奪うことになり、新しいこと、変化への対応が難しい障害者にとっては、大きな負担を感じることになる。</p> <p>生き生き・のびのびと地域にも温かく見守られながら働く場所として存続させてほしい。</p>	1
48	<p>あぜくら分場については、B型作業所として、大型段ボールの加工・組立を行っており、資材や完成品の保管には大きなスペースが必要であるが、現在は可能である。また、資材受入れには大型車の出入りが必要であるが、園庭があることにより可能となっている。大型段ボールの加工・組立を受託できることがあぜくら分場の強みであり、利用者の工賃の向上につながっている。</p> <p>また、重度の利用者もおり、大きな声を出すことがよくあるが、現在は民家に隣接しておらず、迷惑をかけることがない。また、地域の方の理解も深く、利用者も気持ち良く通所できている。</p> <p>建物や設備が老朽化しており、利用者にとって快適なサービスは提供しにくい。建物のスペースが広く園庭があることで、利用者はストレスを貯めることなく、快適に作業所生活を過ごさせている。以上のことから、移転に反対する。</p>	1
49	<p>障害福祉サービス事業所の複合化など利用者の立場になって考えてもらわなければ困る。</p>	1

50	<p>教育・障害福祉センターについては、障害者が最も使いやすい施設となっているため、教育委員会の使用をやめ、身体障害だけでなく、知的や精神も含めた総合的な障害福祉センターとして整理を行うべきである。</p> <p>そうすることにより、機能集約化が図れ、障害者福祉の拠点が1つに集まることにより、行政効率のうえでもよいはずである。</p> <p>教育委員会がこの施設にいないとしない理由はないはずである。</p>	1	<p>[その他]</p> <p>ご提案の教育・障害福祉センターの活用策については、行政需要の増大に伴い、本庁舎自体が非常に狭隘な状況になっておりますことから、旧教育総合センターの機能を旧聖トマス大学(あまがさき・ひと咲きプラザ)へ移転することに伴い、教育委員会の事務局機能を本庁舎から移転し、課題の解決を図ったものです。</p>
公民館関係			
51	<p>公共施設の圧縮と再編の取組(素案)では、ますますこの街に住む値打ちが減ってしまう。よく利用している立花公民館までも移転・見直し・複合化を検討する施設に上がっており、驚いている。</p>	1	<p>[意見を参考とする]</p> <p>立花公民館は、老朽化が進行しておりますが、現在と同規模の施設の建替えを現地で行うことは、高さ制限に係る法規制があり、困難です。</p> <p>そのため、貸館機能を有する近隣の公共施設や民間施設の状況を踏まえながら、現在、立花公民館で学習活動等をしておられる方が継続して活動できるとともに、各種講座や事業の実施などの公民館機能が継続できるよう、これらの機能の移転先などについて、市民・利用者の皆様の声を聞きながら検討を重ね、今後、具体的な取組内容を明らかにしてまいりたいと考えております。</p>
52	<p>立花公民館について、地域には寄合や話合いの場が少なく、近隣の会館などはあるが、一定数の方々が集まれるホールはない。</p> <p>労働福祉会館がなくなり、使いやすい施設が消えていく。コミュニティー全体が消されていく感じさえある。</p> <p>公共施設が次々と廃止されると地域全体が壊されていくようであり、立花公民館は残してほしい。</p> <p>まちづくりの要である地域の公民館は改修・補強しても残すべきだと考える。</p>	2	<p>[意見を参考とする]</p> <p>立花公民館は、老朽化が進行しておりますが、現在と同規模の施設の建替えを現地で行うことは、高さ制限に係る法規制があり、困難です。</p> <p>そのため、貸館機能を有する近隣の公共施設や民間施設の状況を踏まえながら、現在、立花公民館で学習活動等をしておられる方が継続して活動できるとともに、各種講座や事業の実施などの公民館機能が継続できるよう、これらの機能の移転先などについて、市民・利用者の皆様の声を聞きながら検討を重ね、今後、具体的な取組内容を明らかにしてまいりたいと考えております。</p>
53	<p>立花公民館を利用している。調理実習や陶芸ができ、大きなホールも安価で利用できる。</p> <p>計画の移転先のイカリスーパービル3階にそれだけの機能は持たないであろう。また、イカリのような人通りの多いところでは料理もせず、部屋も少ない。</p> <p>せつかくの市民の財産、地域の文化の芽を潰さずに使えるようにしていただきたい。塚口地域の公立施設を存続させていただきたい。</p>	2	<p>[意見を参考とする]</p> <p>立花公民館は、老朽化が進行しておりますが、現在と同規模の施設の建替えを現地で行うことは、高さ制限に係る法規制があり、困難です。</p> <p>そのため、貸館機能を有する近隣の公共施設や民間施設の状況を踏まえながら、現在、立花公民館で学習活動等をしておられる方が継続して活動できるとともに、各種講座や事業の実施などの公民館機能が継続できるよう、これらの機能の移転先などについて、市民・利用者の皆様の声を聞きながら検討を重ね、今後、具体的な取組内容を明らかにしてまいりたいと考えております。</p>
54	<p>立花公民館は、災害時には市北部の拠点となる施設であり存続させるべきである。</p>	1	<p>[意見を参考とする]</p> <p>立花公民館は、老朽化が進行しておりますが、現在と同規模の施設の建替えを現地で行うことは、高さ制限に係る法規制があり、困難です。</p> <p>そのため、貸館機能を有する近隣の公共施設や民間施設の状況を踏まえながら、現在、立花公民館で学習活動等をしておられる方が継続して活動できるとともに、各種講座や事業の実施などの公民館機能が継続できるよう、これらの機能の移転先などについて、市民・利用者の皆様の声を聞きながら検討を重ね、今後、具体的な取組内容を明らかにしてまいりたいと考えております。</p>
55	<p>立花公民館をグループで利用しており、長年慣れ親しんだ施設であり、活動は生きがいにもなっているので、改築・改修などで立花公民館を残してほしい。</p>	1	<p>[意見を参考とする]</p> <p>立花公民館は、老朽化が進行しておりますが、現在と同規模の施設の建替えを現地で行うことは、高さ制限に係る法規制があり、困難です。</p> <p>そのため、貸館機能を有する近隣の公共施設や民間施設の状況を踏まえながら、現在、立花公民館で学習活動等をしておられる方が継続して活動できるとともに、各種講座や事業の実施などの公民館機能が継続できるよう、これらの機能の移転先などについて、市民・利用者の皆様の声を聞きながら検討を重ね、今後、具体的な取組内容を明らかにしてまいりたいと考えております。</p>
56	<p>人口が減ってくる中、財政状況も厳しいであろうが、高齢者が増えることによりその対策も必要である。財政難を理由に地域のコミュニティが無くなれば、高齢者のいこいの場がなくなるので立花公民館の移転には反対である。</p> <p>立花公民館をグループで利用しているが、定年を迎えて趣味を持って生きがいのある人生を送りたいと思う人は多いと思う。</p> <p>子どもから高齢者まで元気で安心して楽しく暮らせる尼崎にしてほしい。そのためにも、市民が生き生きと活動できる公民館はなくさず、移転ではなく建替えていただきたい。</p>	2	<p>[意見を参考とする]</p> <p>立花公民館は、老朽化が進行しておりますが、現在と同規模の施設の建替えを現地で行うことは、高さ制限に係る法規制があり、困難です。</p> <p>そのため、貸館機能を有する近隣の公共施設や民間施設の状況を踏まえながら、現在、立花公民館で学習活動等をしておられる方が継続して活動できるとともに、各種講座や事業の実施などの公民館機能が継続できるよう、これらの機能の移転先などについて、市民・利用者の皆様の声を聞きながら検討を重ね、今後、具体的な取組内容を明らかにしてまいりたいと考えております。</p>
57	<p>立花公民館の移転に反対する。</p> <p>他の公民館でグループ活動をしているが、施設が近くにあり利用料が安いことで小グループでの活動ができている。</p> <p>このような市民の生活の中に根ざした活動を支えてくれる市政であってほしい。</p>	1	<p>[意見を参考とする]</p> <p>立花公民館は、老朽化が進行しておりますが、現在と同規模の施設の建替えを現地で行うことは、高さ制限に係る法規制があり、困難です。</p> <p>そのため、貸館機能を有する近隣の公共施設や民間施設の状況を踏まえながら、現在、立花公民館で学習活動等をしておられる方が継続して活動できるとともに、各種講座や事業の実施などの公民館機能が継続できるよう、これらの機能の移転先などについて、市民・利用者の皆様の声を聞きながら検討を重ね、今後、具体的な取組内容を明らかにしてまいりたいと考えております。</p>

58	高齢者にとって、遠方の施設の利用は困難であるので、立花公民館は残してほしい。	1
59	立花公民館は図書室もあり、近所の子供も気軽に利用できている。次々と施設がなくなるのは淋しいことであり、改築、補修をしてでも立花公民館を必ず残してほしい。	1
60	財政難を理由に次々と地域のコミュニティを閉鎖することは、長年尼崎に住み、高齢者となった我々には心細く、居場所がどんどんなくなり淋しさばかりが募る。 高齢者が笑顔で暮らせる地域でなければ、若者も住まない、孫たちも遊びに来ない、そんな地域になってしまう。 立花公民館は残してほしい。	1
61	立花公民館は、地域の方々が集ったり、学んだりと活用しており、地域になくてはならないものであり、絶対になくさないでほしい。 残るであろう施設も利用者が殺到し、今まで利用していた方々が利用できなくなってしまう。 市の財産である公共施設を次々なくし民間に売り渡すという尼崎の方針には納得がいかない。 こうしてパブリックコメントで市民の声は聞きました。でも、結論ありきのような進め方はやめていただきたい。	1
62	地域学習館を閉鎖する際、公民館は残すと言われていた。地域では高齢者も増え、歩いていける公的施設が必要であるので、立花公民館は残していただきたい。	1
63	立花公民館は、あの地域になくてはならない施設であり、老朽化しているなら今の場所で建替えるべきである。いかりスーパーの3階では、ホールの使用料が高い、調理室を利用することができない、会議室が少ない、駐輪場がない、エレベーターが狭い、エスカレーターが狭いなどの問題点が多いと考える。	1
64	立花公民館の移転・廃止に反対する。 塚口地域に公的施設がなくなる。立花公民館がなくなれば困る。	9

65	地域学習館が次々となくなる中、安価で利用できる学習室等がたくさんあるのは便利であり、立花公民館はそのままの場所で建替えをしていただきたい。	1	<p>[その他]</p> <p>立花公民館については、上記のとおりです。</p> <p>地域学習館につきましては、公民館施設の維持管理経費の問題などから、分館も含め22館すべてを維持していくことが困難となり、平成24年度末で分館16館を廃止し、地域学習館として地域での自主運営をお引き受けいただける場合については、地域団体等に管理運営を移管させていただいたところでございます。</p> <p>その中で、小園地域学習館については、これまで地域の団体のご努力により運営を続けていただいておりますが、平成29年度は継続されない意向となっております。</p> <p>小園地域学習館など閉館する地域学習館におきましては、当該施設の利用者の活動が継続できるよう近隣の公民館や地区会館をはじめ、様々な公共施設等を紹介するなど、各グループのニーズに応じて可能な限りの支援を行ってまいります。</p>
66	立花公民館について、地域学習館が地域の方の努力で何とか運営されていたが、補助金がなくなり維持が困難になり、閉鎖に追い込まれている所が多く、地域の活動拠点がどんどん減る中、規模縮小はあり得ない話。一時的に移転して、建て替えというのならまだ分かるが、イカリスーパーへの移転等は納得できない。	1	
67	立花公民館をなくさないでいただきたい。また、高齢者が増え、居場所がないので小園地域学習館の利用を再検討していただきたい。	1	
68	高齢者が増えるのに、高齢者の居場所が必要である。「金がない」という理由で公共施設をなくすな。小園地域学習館を居場所に使ってほしい。	1	

体育館関係

69	<p>子ども、若者、高齢者のためにも、多くの方が利用している体育館はなくさなず、存続させてほしい。</p> <p>地区体育館については、子供のころから大人になっても利用しており、今後も利用したい施設であり、安価に楽しく体を動かして、地域の交流の場になっている。私は武庫体育館の利用であったが、体育館のスタッフの作りだす雰囲気がよく、楽しい思い出がいっぱいの施設である。</p> <p>地区体育館はなくさず、存続してほしい。</p>	3	<p>[意見を参考とする]</p> <p>厳しい財政状況にある中、30年以上経過した施設が全体の60%程度となっている状況にあっては、すべての施設を建替えることは困難になっております。また、十分な耐震性能を満たしていない施設への対応は、喫緊の課題となっております。</p> <p>こうした状況を踏まえ、本市に6館ある地区体育館は、今後、市内の地区体育館の利用状況や地区体育館以外のスポーツ施設の状況などを踏まえ、まずは地区体育館のあり方について検討してまいります。</p> <p>そのあり方については、現在、地区体育館の利用者の状況などを十分踏まえる中で、他の施設の活用なども含め、幅広い手法を選択肢とし、老朽化している地区体育館の対応などを市民・利用者の声を聞きながら、具体的な取組についての検討を行ってまいりたいと考えております。</p>
70	<p>大庄体育館の利用を楽しみにしており、なくさないでほしい。ママさんバレーや子供たちの体操でよく利用している。</p> <p>大庄体育館は、利用者の声を聞いて存続させてほしい。</p> <p>大庄体育館は建替えてほしい。</p> <p>体を動かして元気になっているのに、寝込んでもいいのか。</p>	18	
71	子供たちが天気を気にせず運動できる施設があるのは、大事なことであり、大庄体育館はなくさないでほしい。	1	
72	武庫体育館は多くの方が利用しており、存続させてほしい。	1	

図書館関係			
73	北図書館は幼少時から学生時、現在に至るまでずっと利用している。中央図書館は遠いので、北図書館の存続を強く希望する。	1	[その他] 北図書館につきましては、十分な耐震性能を有していない可能性があるとともに、老朽化が進行していることから、可能な限り現地の周辺の市有地への移転を検討していきたいと考えており、その機能については維持することを前提としております。 北図書館の移転の具体的な内容の検討にあたりましては、耐震性の確保やバリアフリー化のほか、例えば、現在は駐車場のスペースが十分でないことなどを踏まえ、駐車場を充実させることや、他都市における図書館の運営事例などを参考にした工夫など、より多くの方に利用していただけるとともに効率的な運営の手法の検討を市民・利用者の声を聞きながら行ってまいりたいと考えております。
74	北図書館について、反対であり撤回を望む。	1	
75	北図書館の移転の際は、より一層充実した図書館にしてほしい。	2	
76	北図書館を移転又は機能縮小することに反対する。 機能縮小は尼崎市の文化的な価値を下げるもので、移転についても尼崎市の北西部の住民の利便性を考慮していないし、主要な電車の駅から離れており市民全体の利便性も考慮しないものである。 施設評価は「4」であるため、耐震工事をして維持改修すべきである。	1	
77	図書館は知識や情報の集積及び発信の場としてだけでなく、新しい文化が生まれる可能性を秘めた市民にとって非常に重要な施設であり、都市の魅力向上にも貢献できる施設である。 ライブラリー・オブ・ザ・イヤー2016を受賞した近隣の伊丹市図書館「ことば蔵」においては、様々なイベント等の取り組みにより、図書館の新たな可能性を示している。本市においても同様の展開は可能である。 また、図書館は身近にあることで利用が促進されることから、本来、市内各地に多数あることが望ましい。 よって他施設との複合化については異論はないが、施設規模を縮小しないよう望むとともに、移転については現行の場所から遠隔にならないよう希望する。	1	
78	北図書館について、利用率が悪いというならまだしも、あれだけ利用されている施設を移転、規模縮小は考えられない。 近隣の代替地か旧聖トマス大学に移転？ 規模縮小などではなく、市の北側に絶対必要な施設と位置付け、逆にもっと快適に使えるように整備すべきだと思う。	1	
79	北図書館は絶対に残していただきたい。	1	
80	北図書館の移転場所はなるべく、現在の場所に近く、特にバスなどの公共交通機関の利用に便利な場所への移転をお願いしたい。 (車いす利用者であるので特に希望する。) また、建物については、車いす対応のトイレを女子用・男子用・男女どちらでも利用できるものを作ってほしい。旧労働福祉会館は車いす利用者にとって使いやすいトイレが整備されていた。 建物を設計する際は、障害を持つ者の意見も十分に聞いていただくようお願いしたい。	1	

その他の施設関係等

81	<p>公立保育所の民間移管はかなり進んでいる。 公共施設マネジメントの目標の30%以上の削減を大きく上回っているが、まだ民間移管を続けるのか。そろそろ一度考え直すべきではないか。</p>	1	<p>[その他] 本市において、子どもや子育て家庭を取り巻く環境は大きく変化しており、平成27年4月から実施している子ども・子育て支援新制度の内容を踏まえながら、今後は多様化する保育ニーズや高まる保育需要に的確に対応していく必要があるため、保育の運営主体については、公立保育所だけでなく法人保育園や認定こども園など、多様な主体が各々の役割のもとで保育を担っていくことが重要になるものと考えています。また、保育施設の老朽化が進んでいることや、北部地域を中心に待機児童が発生していることなど、本市に求められる喫緊の課題も取り組んでいく必要があります。 こうしたことを踏まえ、多様化する保育ニーズへの適切な対応や老朽化した保育施設の環境改善、待機児童の解消等を適切に進め、より効率的な保育所運営を行うことを目的に、公立保育所の民間移管を計画的に推進していく考えです。</p>
82	<p>次屋保育所は、公立として残す保育所であるのに、未だプレハブの寒い保育所である。公立保育所の役割は大きいので対応をお願いしたい。</p>	1	<p>[すでに盛り込み済み] 次屋保育所など、今後も公立保育所として存続する保育所のうち、旧耐震基準であるなど課題がある施設につきましては、本計画(素案)の取組の中で、更新などを検討していく施設として位置づけております。</p>
83	<p>市役所本庁舎は駅から遠く不便である。尼崎市の顔になる市役所本庁舎がボロボロで耐震性にも不安があるので移転することを求める。 移転にあたっては、JR尼崎駅付近の徒歩圏内で、北図書館等の施設も1か所に集約して運営したほうが効率的である。</p>	1	<p>[その他] 市役所本庁舎につきましては、老朽化等から建替えを行う必要がございますが、現状の厳しい財政状況においては建替えは困難であり、現在、現本庁舎の耐震化工事を行うと共に延命化対策の取組みを行っているところです。 なお、建替えの際は、ご指摘いただいた市民の皆様の利便性や効率性などの検討が必要であると考えておりますが、建替えには多額の経費が必要となることから、現在、建替えのための基金を積み立てているところでございます。</p>
84	<p>施設の機能を維持するため、対策を検討する施設で、田能資料館はまだ利用したことはないが、大変興味があり、大事に今後も続けていただきたい。</p>	1	<p>[すでに盛り込み済み] 田能遺跡については、国が指定する史跡であり、当該遺跡からの出土物を田能資料館に展示しております。 本市としましては、こうした文化財の保護に努める必要があると考えており、今後とも維持していくこととしておりますが、施設が老朽化していることから今後、施設の更新などを検討してまいりたいと考えております。</p>
85	<p>教職員の研修に専門施設が必要と思えない。学校施設を利用できるのではないか。そういう意味では学校施設の機能拡充が図れるし、活用度も高まる。</p>	1	<p>[意見を参考とする] 教育総合センターにつきましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、設置した施設で、教育関係職員の研修のほか、研究助成や教育情報の収集、視聴覚機材の貸出や活用の助言などを行っており、これらの取組を通じて本市の教育の総合的な向上のため必要な施設であると考えております。 学校施設の活用につきましては、今後、見直しが必要な施設の状況等を踏まえ、教室などの学校施設の活用について、研究してまいりたいと考えております。</p>

86	<p>30%の計算にあたり、それを定めた基本方針を策定した後に、行き当たりばったりで取得することとなった旧聖トマス大学と尼崎城の面積を含めるのはおかしいのではないか。</p>	<p>[その他]</p> <p>旧聖トマス大(あまがさき・ひと咲きプラザ)の資産の譲り受けにあたっては、公共施設マネジメント基本方針の考え方に沿って、その施設全体を既存ストックとして捉え、建物の耐用年数や老朽度合いを考慮しながら全市の既存施設・機能の集約・複合化等を考えることとしております。</p> <p>また、尼崎城については、歴史的な本市のシンボルとしての活用のみならず、城内地区や寺町、商店街などをめぐっていただくための観光資源として、都市魅力の向上と交流人口の増加のほか、市民のまちに対する誇りや愛着の醸成につなげていくこととしております。</p> <p>以上のように、両施設は、本市まちづくりに必要な施設として活用するものであり、今後、集約や建替え等で必要に応じ新たに取得する施設なども含め、全体として本市として保有する公共施設の床面積を総量で30%以上削減していきたいと考えております。</p>
87	<p>福祉会館について</p> <p>①地域移管とあるが、もうすでに管理は地域が行っており、その費用も地域が負担している。地域移管ではなく、建物を地域に譲渡するというならば、紛らわしい言い方をせずに、そのように書けば良いのではないか。</p> <p>②現在、地域が管理し、費用を負担しているのだから、市として譲渡のメリットはないのではないか。単に目標の30%を確保するために手放すだけではないのか。</p> <p>③譲渡をすれば、使用用途に縛りがなくなり、営利目的など何にでも使用することが可能となるが、それでもよいのか。</p> <p>④地域が譲渡ではなく、これまでどおり貸付がいいと言った場合はどうするのか。貸付を継続するのか、それとも建物を廃止するのか。</p> <p>⑤建物の譲渡を受けようにも地域の団体は法人格がなく登記できない。どのように考えているのか。(組織の加入率が低下している中、認可地縁団体になるのは簡単ではない。)</p> <p>⑥会館を地域で所有しているものとの公平性を保つためということを言い出しそうだが、すでに地域が管理し費用を負担しているのだから、不公平にはなっておらず、当てはまらないと思うがどう考えているのか。</p> <p>⑦この見直しにおける市のメリット、地域のメリットは何か。</p> <p>⑧他の公共施設への機能移転も方向性として考えているようだが、福祉会館は単なる貸館施設ではなく、地域の中にあることが大切であると思うがどう考えているのか。</p>	<p>[その他]</p> <p>福祉会館につきましては、現在、地域が所有されている施設と市が所有している施設があり、市が所有している福祉会館につきましては、社会福祉協議会の連協会館として維持管理をお願いしており、日々の光熱水費や施設の修繕は地域で負担していただき、建物の躯体部分等に係る修繕につきましては、市が負担することとしております。</p> <p>計画の中で「地域移管」としておりますのは、市が所有している福祉会館につきましても地域が所有されている福祉会館と同様に建物の所有を含め、地域移管することを目的としております。</p> <p>この「地域移管」を進めることにより、施設の活用方法の幅も広がり、さらなる地域コミュニティの醸成に資すると考えております。また、本市がすべての施設を保有・更新等を行い続けることが困難な状況からも、双方のメリットになると考えております。</p> <p>ご指摘の点も含めて様々な課題があることは認識しており、今後、施設を管理されている地域の声を丁寧に聞きながら、具体的な調整を進め、課題の解決を図り、着実に取組を進めてまいりたいと考えております。</p>
88	<p>青少年センターについては、子供のころ学校から連れて行ってもらって、個人的にも何度も訪れ、子供心にとっても楽しくわくわくする施設であった。</p> <p>設立に携わった方たちの創意工夫が詰まっていると感じた。時代の変化、施設劣化など色々あると思うが、今の子供たちが同じようにわくわく出来るよう、つないでもらえたら素敵だと思う。</p>	<p>[意見を参考とする]</p> <p>青少年センターの老朽化が進行していること、また、旧聖トマス大学(あまがさき・ひと咲きプラザ)を学びと育ちを支援する拠点に位置付けていることから、同施設を今後の青少年施策の拠点と位置付けたところがございます。</p> <p>新たな拠点施設では、青少年交流や文化・芸術活動等の発表の場、学びの場としての活用を検討するとともに、青少年にとって魅力のある施設づくりを目指してまいります。</p> <p>また、青少年が好奇心を持ち、将来に夢や希望を持つことができるよう、事業効果を検証のうえ各種事業を実施していきたいと考えております。</p>

89	<p>地域総合センター上ノ島は、「部落差別解消推進法」が規定する、現に日本に部落差別が存在することを是正するための拠点である。</p> <p>子育て支援、子ども食堂、中学生勉強会、子どもの居場所、青年の居場所、高齢者の居場所、障害者との交流、高齢者の居場所、異世代交流の拠点の交流など、計り知れない成果を生み、今後の発展も期待される。</p> <p>そのような地域総合センター上ノ島をなくすことは、尼崎市にとって取り返しのつかない重大な損失である。一時的な蒙昧に流されないことを期待する。</p>	1	<p>[すでに盛り込み済み]</p> <p>地域総合センターにつきましては、「総合センターの今後のあり方について」において、6か所の地域総合センターの体制を維持する中で、旧青少年会館、旧老人福祉センター分館等の地区施設を各地域総合センターごとに、それぞれ1館体制に集約していくこととしており、地域総合センター上ノ島を廃止する考えはございません。</p> <p>本市としましては、引続き6か所の地域総合センターを維持する中で、全市的、総合的な市民の人権啓発意識の普及高揚を図るための開かれたコミュニティ施設として、発展・展開を図ってまいりたいと考えております。</p>
90	<p>財政難と言いながら、尼崎朝鮮学校には相場の10分の1で市有地を貸している。他の外国人学校などとの整合性はあるのか。</p>	1	<p>[今回の意見公募の対象としていないもの]</p> <p>尼崎朝鮮初中級学校に対しましては、歴史的な経緯により、市有地を貸付けておりますが、貸付料については、既定の料金を徴収するまでの間、経過措置(現在の貸付料)を講じることであります。</p>
91	<p>公共施設の見直しについて、市報に申し訳程度に載せるのではなく、トップに載せて広く市民に知ってもらうようすべきである。</p>	1	<p>[今回の意見公募の対象としていないもの]</p> <p>市報あまがさきは、様々な行政情報などを市民の皆様に対してお知らせするツールの1つであることから、この計画の取組をまずは知っていただきたいとの考えから、計画に係る記事とパブリックコメントの実施については、他の記事と比べて大きな1ページ分を割くことといたしました。</p> <p>今後とも、市民の皆さまへの周知や意見聴取については、継続した取組が必要であると考えており、市報による情報の掲載だけでなく、ホームページへの掲載や、市内各所での市民説明会の開催など、様々な方法を探る中で、できるだけ市民の皆様へ周知できるよう努力してまいります。</p>
92	<p>費用負担の公平性から言えば、不十分な制度下で、収益のない(むしろマイナス)の障害者施設の運営において、無償貸与は見直すべきではないと思う。</p>	1	<p>[今回の意見公募の対象としていないもの]</p> <p>現行制度のもと、施設用地を市有地以外で確保し事業運営されている法人との公平性を確保するために、市有地の貸付料は有償化しようとするものです。</p>